



廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

令和3年
9月22日
第6号



夏の暑さも和らぎ、朝晩は過ごしやすくなってきました。
十五夜は”中秋の名月(ちゅうしゅうのめいげつ)”とも呼ばれ、「秋の真ん中に出る月」という意味があります。今年の十五夜は9月21日でした。もともと十五夜は雨の日が多いといわれます。そんなときは、十三夜(今年は10月18日)や十日夜(11月14日)にお月見するのもおすすめです。

今回は、『今後の取組をよりよくするためのアンケート』の結果と「アセスのより効果的な活用」について紹介します。



「今後の取組をよりよくするためのアンケート」結果について

「今後の取組をよりよくするためのアンケート」へのご協力ありがとうございました！！

同じ仕事をするなら、できるだけ「納得感」を感じて、気持ちよく働きたいと誰もが思っていることでしょう。



アンケートの自由記述欄にも先生方の考えをしっかりと書いていただいております。日頃、どのような考えを持たれているのか伝わってきました。せっかくいただいた意見ですから、ぜひ今後に活かしていきたいです。

もちろん、国や県の大きな流れを受けた施策は、廿日市が取り残されないように実施すべきです。予算が必要な取組は思い通りに進まないことも多々あります。そこはご理解ください。個々の集計結果については、機会を捉えてお返しします。

コロナ対応で大変な時期ですが、一緒に乗り越えていきましょう。

「これからも廿日市で働きたいですか」

肯定的な回答95.4%

(そう思う 67.4%)

(ややそう思う 28.0%)

これはうれしい！

【理由】

- ・協力し合える雰囲気職場が多い。
- ・生まれ育った廿日市のために尽力したい。
- ・教育委員会のともに歩もうという姿勢がいい。
- ・支援員さんが充実している。
- ・子どものためにがんばる先生が多い。 など



アセスのより効果的な活用について ～校内研修における取組の工夫～



本市がアセスを導入して、今年で8年目になります。各小・中学校では、いじめ等の早期発見・早期対応を図るべく、日常的に多面的なアセスメントを行うための一つのツールとして活用していただいております。1学期に各校において第1回目のアセスを実施した後、校内研修を実施していただきました。提出された実施報告書から、各校の研修のモチ方や研修内容の工夫が数多く見られました。一部ですが紹介します。

〈各校の実施報告書より〉

- ・学級内分布票や個人特性票を、学級や児童に関わる教職員全体で分析・協議を行うことで、今後の具体的な取組を共有することができた。また、過去のアセスとの比較により、取組を検証することができた。
- ・SC及びSSWにも研修に参加してもらい、専門的な立場からの意見をもらいつつ、具体的な支援について検討することができた。
- ・子どもの課題となる部分を見付けるだけでなく、子どもがもっている「強み」をどう生かしていくかという視点も取り入れて支援方法を検討することで、深まりのある協議となった。

アセスの効果的な活用については、他校の取組も参考に更なる充実を図るとともに、アセスを導入した経緯や目的等については今後も本市の先生方の間で継承していく必要があると考えています。

アセス研修実施の際には、市教育委員会からも研修講師として多くの学校を訪問しておりますが、ここ数年、生徒指導主事等の先生自らが研修講師として指導にあたるケースも増えてきました。多くの先生方がアセスについて語る事ができつつあります。子ども達の安心・安全な環境づくりのために、今後も効果的な活用に取り組んでいきたいと思っております。市教育委員会からも、情報発信に取り組んでまいります。

目指せ！日本一の図書室！

今年度、「目指せ！日本一の図書室！！プロジェクト」の対象校である廿日市小学校の図書室リニューアルの様子を紹介します。

【畳→カーペットに張り替え】



【木製の椅子】



【UVフィルム貼り】



ゆったりくつろげるスペース作りや木の温もりを感じられる椅子や書架などを整備しました。

日差しによる本の劣化を防ぎます。

普段本を読まない子ども「ちょっと図書室に行ってみようかな」と思える図書室、インターネットで得た知識を「本でもっと詳しく調べてみようかな」と思える図書室など、それぞれの学校が目指す図書室の実現に向けて動き始めています。

特別支援教育の視点に基づいた 学習指導と生徒指導

最近よく耳にする「インクルーシブ教育」。これからの学校教育において、とても大切なことなので、先生方にもぜひ知っていただきたいと思います。



インクルーシブ教育(inclusive education system)とは？

人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みであり、障害のある者が「general education system」（一般的な教育制度）から排除されないこと、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供される等が必要とされている。

【障害者の権利に関する条約第 24 条より】

特別支援教育を巡る状況の変化も踏まえながら、障害の有無に関わらず**誰もがその能力を発揮し**、共生社会の一員として共に**認め合い、支え合い、誇りをもって**生きられる社会の構築を目指す必要があります。

今回は、インクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の推進についてお伝えします。

ICT活用への道



GoogleWorkspace の活用が進んでいます。



これまで1学期の間は、子ども達が学校でタブレット端末の使い方や、それを活用した授業に徐々に取り組んできました。2学期以降も、学校での活用を進めていきます。

GoogleWorkspace の活用については、右の図のように1時間の授業の中で、様々なアプリケーションを使って子ども達が思考したり表現したりするイメージです。

これまで市教委だよりで紹介していない学校でも、

 (アンケート機能) や  (デジタル付箋紙) をよく使っています。

来月号で、また学校の具体的な取組をみなさんにご紹介いたします。

廿日市市立学校の GoogleWorkspace で使える主な機能は、左の図のようになっています。メール機能は必要ないので、止めています。

令和3年8月23日から、準備の整った学校が、原則小学校3年生から中学校3年生までを対象に、GoogleWorkspace を家庭で使うことができるかを試行しました。そのときは、フォームというアンケート機能を使っての課題送信が多かったのではないのでしょうか。今後は、授業で効果的に他のアプリも活用しつつ、幅を広げていきたいと考えています。先生方対象の ICT できるんだもん講座も継続していきます。

ある1時間の学習過程 (Google Workspace を使って)

| | | | |
|---|--|--|---|
| <p>フォーム</p> <p>1 Classroom に入る。</p> <p>2 (先生) ストリームにフォームのリンクを掲載する。</p> <p>3 (生徒) トピック1の本時課題に關する質問について回答する。</p> <p>4 (先生) フォームの結果を全体表示する。</p> | <p>ドキュメント</p> <p>トピック1の本時課題について、自分の考えをドキュメントにまとめる。</p> <p>必要に応じて、Webの資料なども取り込んで、考えの発展となるものを集める。</p> | <p>Jamboard</p> <p>自分の考えを明確に書き、共有スペースに投稿し、他者の意見と比較する。</p> <p>スライド</p> <p>他者の意見と比較しながら、自分の考えを発表し、スライドにまとめる。</p> | <p>スライド</p> <p>スライドを簡単にしながら発表し、クラス全体での質疑を行う。</p> <p>フォーム</p> <p>本時の振り返りを行い、自己評価のチェックと学びの一文を配達・投稿する。</p> |
| 課題把握 | 個人思考 | 集団協議 | 理解定着 |
| 導入 | 展開 | まとめ | |

- ドキュメント (文書作成)
- スプレッドシート (表・グラフ作成)
- スライド (プレゼン資料作成)
- ドライブ (資料データ保管)
- Meet (ビデオ通話)
- フォーム (アンケート作成・集計)
- Jamboard (デジタル付箋紙)